

# 常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ

令和 4年 6月 3日(金)

その2 通算 238号

## ◇ おためし【コグトレ：認知訓練】④ < 認知機能強化 編 >

③で紹介した【写すトレーニング・点つなぎ】【見つけるトレーニング・形さがし】は、3つの「コグトレプログラム」：認知ソーシャルトレーニング、認知機能強化トレーニング、認知作業トレーニングのうちの認知機能強化トレーニングにあたる。



宮口氏が主宰する学会によれば、認知機能とトレーニング（以下 TR）の関係は左のとおり。

さらに、力を高めたい目的によって TR を分類すると、以下のようになる。

### < 目的とトレーニングの関係 >

#### ◆ 見る力の基礎力をつけたい

- ・漢字が覚えられない
- ・マス目から字がはみ出す
- ・簡単な図形も模写できない

#### 【見る】トレーニング

#### ◆ 見る力の応用力をつけたい

- ・見落としが多い
- ・黒板を正しく写し取りできない

#### 【覚える】トレーニング

#### ◆ きく力の基礎力・応用力をつけたい

- ・聞き間違いが多い
- ・ちゃんと聞いていないように思える
- ・短い文章も復唱できない漢字が覚えられない
- ・聞き間違いはないが内容が理解できていない

#### 【覚える】トレーニング

#### ◆ 処理スピードを上げたい

#### 注意力をつけたい

- ・ゆっくりやればできるがスピードが遅い
- ・やればできるが不注意が多く、聞き間違いが多い

#### 【数える】トレーニング

つまり【コグトレ】は、困り感のある子供の状態を捉え、対応するトレーニング（伸ばしたい力・高めたい力）を選択して課題を与えることができる。個に寄り添う支援である。

学校もしくは学級で行う場合、個の対応はなかなか難しい。授業が疎かになれば本末転倒となる。よって担任は、学級集団の状態を分析して全体に課題を与える方法をとる場合が多い。

この手法はソーシャルスキル TRこそ効力を発揮するだろう。TRを通して人間関係力の向上・集団関係力の改善へとつながり、機能強化 TR と併せて行うことで、相乗的に生きる力の涵養を図ることが可能となる。魅力的 TR だ。

## ◆【数える】トレーニングで、処理スピード力を強化する

32 さがし算 ① -1 年 月 日

これまでの最高 分 秒 目標 分 秒 今回 分 秒

の中の2つの数字を足して、9 になるものを探し  で囲みましょう。たて、よこ、ななめの数字から見つけましょう。

1 8	6 1	4 2	4 6
2 3	5 4	5 3	3 7
6 1	1 8	5 4	7 1
0 9	3 5	6 1	5 2
4 2	3 1	2 8	3 2
3 6	5 4	5 1	2 6

左のサンプルは「たして9」になる組み合わせを見つけて **1 + 8** を囲む【数えるTR】。

これならドリル形式で何度でもできる。しかもルールは「足し算のみ」だから簡単だ。小1でも対応でき、しかもパズル感覚・遊び感覚でできる点がよく、抵抗感も少ない。

上段にTR完了時間の記入欄「**これまでの最高**」「**目標**」「**今回**」とある。

これは、「処理スピード力」強化をねらうTRの児童の向上心をくすぐる仕掛けだ。

自分で目標を設定し、あとで振り返りができる点もよい。

しかも、タブレットの「ストップウォッチ機能」を使えば、自分一人でもできる。

## 右は【記号さがしTR】

条件付の「リンゴ」の数カウント。

<数に入れない条件>

- ① 「リンゴ」**左**に「雪だるま」はカウントせず。
  - ② 「リンゴ」**左**に「人形」はカウントせず。
  - ③ 「リンゴ」**左**に「スマイルマーク」はカウントせず。
- 「さあ、リンゴは幾つでしょう」

これは、**左**というのがポイント。

横書きの文章は「右に流れる」。つまり、人は右方向は目で追いやすが左は難しい。記憶も重要なのだ。

注意力向上TR。さあ、やってみよう

リンゴの数を数えながら、できるだけ早くリンゴに✓をつけましょう。ただし、リンゴの左に下のある場合は数えず✓もつけません。

😊 😐 😞